

平成25年度宇都宮市学習と生活についてのアンケート（宇都宮市立清原北小学校3年）

■分析と今後の指導上の工夫

・ 学校や家での学習

「勉強が好きか」という質問に対しほとんどの児童が「好き」と肯定的な回答をしており、学習に対する意欲の高さがうかがえる。教科ごとに見ても、どの教科も肯定割合が高い。特に体育・会話科（ことばの時間）は全員が「好き」と回答している。また、その教科が将来のために大切な問いにもすべての教科において高い肯定割合を示している。

学習時間は、平日が30分から1時間の子が半数近くおり、学習習慣はできつつあるといえる。休日の学習が20分以下の児童が3割いるので休日の過ごし方を改善していきたい。

授業への取り組みについては、授業でわからないところについては、半数近くが「家の人」に聞くという回答。「授業の始まりは席についている」「学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある」ではほとんどが肯定的回答をしている。一方で、「グループなどでの話し合いに自分から進んで参加している」では否定割合が2割程度いた。

・ 毎日の生活

「学校生活に満足している」という肯定回答もほぼ全員であった。「学校や公共の場所でのきまりやルールを守っている」について全員が肯定割合であり、自己肯定感の高さがうかがえる。

平日の読書時間は、20分～1時間程度が半数以上の割合であったが、引き続き、読み聞かせやブックトークを通じて、本の楽しさを伝えるとともに一人読書の習慣化を一層図りたい。

学校がある日の寝る時間については、9時ごろが5割と一番多かった。遅くても10時ごろには寝ており、11時過ぎは一人もいなかった。

「1日にどれくらいテレビ、ビデオ、DVDを見ていますか」と「1日にどれくらいテレビゲームやパソコンをしていますか」という質問に対しては個人差が見られるが、ゲームに関しては、平日はほとんどしない子が最も多かった。

・ 携帯電話

自分の携帯電話を持っていない児童がほとんどであるが、数人持っているとの回答が見られた。フリタリングをしていない、家の人とルールを決めていないとの回答もあり、携帯電話の使い方について学校でも取り上げる必要が出てきたように思う。

・ 体力や健康、食事、安全

全員がほぼ毎日朝ごはんは食べてきており、よい食習慣がついてきているようである。好き嫌いについては、ほとんどの児童が好き嫌いをせずに食べている。

運動をすることの大切さを全員が肯定的に捉えているものの、「休み時間や放課後、休日などに自分から進んで運動をするようにしている」では、否定回答が約3割あった。

「交通事故にあわないよう、交通ルールを守っている」という質問に対して全員が肯定割合であるが、「不審者から自分の安全を守るための行動を心がけている」や「自分や身の回りの人たちの安全に気を配り、安全に行動している」では「あまりあてはまらない」回答も見られ、危険意識を高めていく必要がある。